

【開催報告】

SIP リグニン 2017 公開シンポジウム&展示会 材料利用を可能とするリグニンの正体 —森林資源を活用する地域導入型ニュービジネス—

SIP リグニン主催の公開シンポジウムおよび展示会が 10 月 18 日に東京にて開催され、当森林科学科の宮藤久士教授が「リグニン分解と有用プラットフォームケミカルの創製」という題目で講演されました。

SIP リグニンは木材の主成分の一つであるリグニンを利用した高付加価値製品の開発、実用化に向けた取り組みを目的とする研究コンソーシアムであり、本シンポジウムでは SIP リグニンの開発技術の紹介に加え、リグニンの実態に関する講演がなされました。また、展示会では SIP リグニンの研究開発成果をまとめたポスターや実際のリグニン製品の展示が行われました。



宮藤教授の講演



展示会の様子



シンポジウムチラシ